

「オレンジゆずるバスの運行見直し（素案）に対する主な意見と考え方」

	主な意見	考え方
A 運行ルート 50件	東部の南北移動ルートを廃止しないほしい。 (13件)	<ul style="list-style-type: none"> 現在の運行ルートは、市内の東西移動の充実を図るだけでなく、東部の南北移動も確保したのですが、利用が多い市内中心部への乗車時間が長くなることや南北移動の利用者が非常に少ないことから、運行見直し（素案）では、東西移動を重視したルートとしていました。しかし、現在の運行内容では南北移動は2時間に1便しかないため、利用者が少ないとのご意見も多くありました。そのため、みなさんのご意見を踏まえ、東部の南北移動を確保するとともに、便数も増加できるルートに見直します。 この見直しにより、1便あたりの所要時間が長くなることから、今後の利用状況を注視するとともに、市民、利用者のニーズも把握していきたいと考えています。
	騒音、排気ガス等の被害がひどいため、市立病院へのアクセスを北門の利用または既存の阪急バスのバス停に変更してほしい。 (16件)	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院への乗り入れルートは、運行計画時においても、各種調査や市民説明会での意見等を踏まえ、検討を積み重ね効率的・効果的なルートを選定したものです。 また、運行見直し（素案）を作成する時点においては、地元自治会の要望についても議論した結果、ルート変更せず西側道路からアクセスする現行ルートとしました。 今回、アクセスルートの変更についての意見がありましたので、再度検討を重ねた結果、代替ルートの提案があった北門からアクセスするルート変更は、効率性や揺れなどによる乗車快適性が著しく低下する問題等からルート変更せず現行ルートといたします。また、土日、祝日のみ、バス停を阪急バスのバス停とすることについては、高齢者の利用が多いことから、曜日でバス停が異なることに対する混乱が懸念されること等から、現行どおり全日、同一のバス停といたします。 なお、運行にあたっては、低排出ガスで騒音規制適合の小型バスで運行していますが、引き続きアイドリングストップの徹底など住環境への配慮に努めていく考えです。

<p>遅延の発生可能性があるの で、ルート統合はやめてほ しい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・西部北と東部北を合体させた北ルート、西部南と東部南を合体させた南ルート、中部北と豊川周辺地区を合体させた中ルートの3ルートに集約し、効率化を図っています。それぞれのルート一周の運行距離は、現行の約2倍となっていますが、バス2台で運行することから、現行の約1時間に1本の運行が確保できます。 ・また、遅延については、2ルートを合体させたので、最低でも2つの拠点で遅延が発生しないように、調整時間を設定するなどの対策について、運行事業者との十分な協議・ダイヤ設定を行います。
<p>東部北から箕面まで山麓線と 並行したルートとしてほし い。 (2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ルートはオレンジゆずるバスと阪急バスが競合するのではなく、役割分担し市内バス交通全体の利便性向上を目指す必要があることから、阪急バスは鉄道駅への交通、新たなバスは市内移動の生活交通と、主な役割を分担しています。 ・そのため、東部北地区から箕面駅へ直行するバス交通は、阪急バスの箕面山麓線の往復便を充実させ、オレンジゆずるバスの東部北地区からのルートは、生活交通として、利用意向が多いかやの中央、市立病院、市役所を経由し、箕面駅周辺及び箕面駅に行くルートとしておりますので、ご理解よろしく申し上げます。
<p>中部北地区からかやの中央ま で、(高齢になれば)乗り継い でまで利用しないと思う。 (2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ルートは市立病院で折り返す両まわりの運行であることから、中部北地区から萱野中央に行くには、2時間に1便という運行本数で、多くの利用者から増便の要望が寄せられていました。 ・運行見直し(素案)では中部北地区からは、箕面、箕面市役所前、市立病院を経由して、かやの中央に向かうシャトル運行として1時間に1便の運行は確保しています。 ・なお、中部北地区からは阪急の路線バスも運行しており、時間帯等状況によっては阪急の路線バスもご利用いただきますようお願いいたします。

<p>緑、黄、赤（一部）の合体ルートと桃、青、赤（一部）の合体ルートとしてほしい。 （1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行見直し（素案）は、西部北と東部北を合体させた北ルート、西部南と東部南を合体させた南ルート、中部北と豊川周辺地区を合体させた中ルートの3ルートに集約し、効率化を図っています。バス2台で運行することから、現行の約1時間に1本の運行が確保できます。 ・ご意見にある3地域ずつ合体させて2ルートでの運行になりますと、行き先が複雑になり、わかりにくいルートとなることが考えられるため、素案が得策であると考えています。ご理解よろしくをお願いします。
<p>片まわりなのに、一周の運行時間が長すぎる。片まわりならば、短くすべき。 （2件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行見直し（素案）では、西部北と東部北を合体させた北ルート、西部南と東部南を合体させた南ルート、中部北と豊川周辺地区を合体させた中ルートの3ルートに集約し、効率化を図っています。それぞれのルート一周の運行距離は、現行の約2倍となっていますが、バス2台で運行することから、現行の約1時間に1本の運行が確保できます。 ・また、各ルートの住宅地の循環についてはできるだけ短くしたルート設定としており、目的地となる主要施設にできるだけ早く、また、往復での利用できるように設定しています。
<p>北ルートにて、「かやの中央」を通過して、白島北へ上って青松園前を通過して粟生団地へ行ってほしい。 （1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートの重なりを避け、また、できるだけ広い範囲をカバーするために見直し（素案）のようなルートとしています。
<p>新松寿荘ができるまで、現松寿荘に乗り入れてほしい。 （1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスは、買い物などに利用できる一般乗合バスとなるため、道路運送法の運行許可を受ける必要があり、国・警察等関係機関と協議した結果、安全上の問題から松寿荘への乗り入れが困難となったものです。 ・運行ルートは、各種調査や市民説明会での意見等も踏まえて検討してきたもので、松寿荘を利用される方々の利便性や安全性も考慮し、施設から近い歩道のある幹線道路にバス停を設置しています。 ・また、バス停の快適性を向上させるために上屋（屋根）やベンチを設けるとともに松寿荘にバス運行情報を表示する電子看板を設置しています。
<p>南ルートでも新船場北橋を経由してほしい。 （1件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行見直し（素案）では、南ルートは新船場北橋を経由します。

<p>桃ルートにて、市立病院からのルートを芝西交差点から国道 171 号経由で箕面高校前に行きそこから箕面駅へといっ てほしい。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の桃ルートは、運行見直し(素案)では南ルートとなり、半町から、箕面高校前、箕面市役所、箕面駅に向かうルートを新設しています。芝西交差点から、国道 171 号をとおり、箕面高校前、箕面市役所前、箕面に向かうルートは中ルートで確保しています。
<p>止々呂美、箕面森町への運行を検討してほしい。 (2 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・止々呂美地区や箕面森町の北部地域におけるバスによる市内移動は、各種調査や市民説明会での意見等を踏まえ、週 1 便だけの運行では、利用が困難であるため、阪急バス箕面森町線と連携を図り、かやの中央でオレンジゆずるバスとの乗り継ぎ割引を導入し市内移動の利便性向上を図っているものです。今後も、北部地域のバス交通は阪急バスと役割分担しますので、ご理解よろしくお願いします。
<p>Mバスで利用していたルートを考慮してコースを考えてほしい。 (2 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスの運行開始前にMバス利用者アンケート調査、市民満足度調査や市民説明会などを踏まえ、多くの市民意向に基づき、ルートを決定しています。 ・また、今回の運行見直し(素案)でも利用実績や各種調査結果に基づき、市民協働で運行計画を検討していますので、ご理解よろしくお願ひします。
<p>青ルート改正案、(東行)粟生団地 東生涯学習センター前 豊川支所前 豊川住宅前 粟生間谷西 4 丁目 奥へ、(西行)山の口 豊川支所前 豊川住宅前 東生涯学習センター前 宮の前 粟生団地とする。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート調査において、現行の青ルートについては、現行のままが良い方が多数を占めており、この結果や利用実績を基に市民協働で協議会、分科会において検討して、今回の見直しルートとなりましたので、ご理解よろしくお願ひします。
<p>新ルート提案、箕面 滝上ドライブウェイ 滝上駐車場 ビジターセンター 勝尾寺 粟生団地、シーズンのみでも可。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご提案のルートについては、観光面にも配慮されたルートであります。市民の生活交通の確保などを目的に運行しているオレンジゆずるバスによる同ルートの運行は難しいと考えています。 ・なお、観光面からのバス路線の開設は、別途検討が必要と考えています。

<p>路線が長くなり、遅延が発生すると対応できないため、現ルートでの維持が望ましい。また、遅延対策で対応できるバス台数を確保する必要がある。</p> <p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各ルート2台ずつを相互運行することにより現状と同じように約1時間に1便を確保しています。 ・また、遅延対策としてゆとりのあるダイヤ設定を行っています。予備車については1台を確保しています。
<p>ルート・ダイヤの設定は市が大局的に見ての設定でよいと思う。</p> <p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行見直し(素案)では、西部北と東部北を合体させた北ルート、西部南と東部南を合体させた南ルート、中部北と豊川周辺地区を合体させた中ルートの3ルートに集約し、効率化を図っています。それぞれのルート一周の運行距離は、現行の約2倍となっていますが、バス2台で運行することから、現行の約1時間に1本の運行が確保できます。 ・引き続き利便性の高いバスとなるように取り組んでまいります。
<p>市立病院への乗り継ぎがなしでいけることは安心でうれしい。</p> <p>(1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運行見直し(素案)については、拠点バス停の利用者が多いことや、中心部間の移動が多かったことから各地域から必ず、箕面、箕面市役所前、市立病院、かやの中央を経由するルートとしています。 ・引き続き利便性の高いバスとなるように取り組んでまいります。

	主な意見	考え方
B バス停 2 1 件	箕面駅前第一駐車場バス停がなくなったので復活してほしい。 (1件)	・Mバスは公共施設送迎限定の無料バスであったため、駅へ運行することができず、箕面駅前第一駐車場前のバス停で代替していましたが、現在のオレンジゆずるバスは、乗合バスとして箕面駅に入る事が可能となったため、駅にアクセスしています。そのため現在の箕面バス停をご利用いただくようお願いします。
	小野原東5丁目と小野原東6丁目の間が長いため、その間にバス停がほしい。 (1件)	・バス停の設置が可能かどうかの検討は行いますが、道路状況の確認、警察協議、地先の方のご理解も必要なため、設置できない可能性もあることをご理解下さい。
	SSOK前か裏通りにバス停を設置し、買物客の利便性を図るべき。 (1件)	・SSOK前を通る運行ルートはありませんが、SSOKに近い場所にバス停を設置するよう検討します。
	粟生間谷西4丁目の移設後のルートは交通量も多く危険であるため、移設しないでほしい。 (1件)	・現在の粟生間谷西4丁目は利用者も少ないため、住宅地の多い場所へ移設することによって、利用者の増加を図りたいと考えています。 ・道路状況の確認や警察協議などを踏まえて、安全な場所に設置したいと考えています。
	東生涯学習センター前他バス停にベンチを設置してはどうか。 (2件)	・ベンチや上屋は、バス利用者の快適性を確保するためには必要と考えていますが、道路に設置するには、広い歩道であることなど条件を満たす必要があり、困難な状況です。 ・周辺の施設等の道路外設置も含め、可能な限り設置していく方向で検討したいと考えています。
	間谷北公園よりさらに坂を上った給水塔付近にバス停がほしい。 (1件)	・運行ルートにつきましては、みなさんからいただいた意見を踏まえた上で、協議会及び市民も含めた分科会で十分に検討して決定しています。今回ご希望の場所は、間谷北公園のバス停勢圏(300m以内)に含まれており、ご要望の迂回をすることにより、運行距離が伸び運行時間も増加することから、設置が困難な状況ですので、最寄りのバス停をご利用いただきますようお願いします。

<p>緑ルート of 池田市内のルート部分にバス停がほしい。(高校前など) (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスは市内の円滑な移動を確保し、市内バス交通サービスの充実を図ることが目的であることから、市外にバス停を設置していません。今後は、池田市をはじめとする関係者と設置の可能性について検討したいと考えています。
<p>バス停によっては、「歩くと10分、バスを利用すると30分」という箇所もある。なぜそのようなルート、バス停としたのか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート・バス停位置については市民が参画している協議会・分科会で議論を重ねてきたもので、地域を循環する区間では交通規制や道路状況などにより運行方向が限られ、近いバス停でも遠回りとなる場合があります。
<p>ベンチを置けないほど狭い場所にバス停がある箇所もあるが、なぜそのような場所に設置したのか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内移動の円滑化を図るため、できるだけ多くの地域を細かく運行して、利用しやすいように、ルートを設定して、バス停を設置したものです。
<p>利用者が少ないことを理由にバス停を廃止することに反対。廃止される利用者の少ないバス停はなぜ利用が少ないか調査したのか。利用者を増やすための検討は行わなかったのか。 (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止するバス停は、効率的・効果的な運行ルートに見直す場合のみの必要最小限という方針で検討しています。運行開始後、バス乗降調査やバス利用者アンケート調査を行って意向を把握しています。 ・また、より多くのかたに利用してもらえよう、利用促進等も実施しており、今後も利便性向上について検討していきたいと考えています。
<p>市立病院、箕面、かやの中央、千里中央をハブ化するとともに、既存路線バスとの補完関係を強める。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新ルートでも、すべてのルートが停車する箕面、箕面市役所前、市立病院、かやの中央を主要バス停として位置づけています。 ・また、運行ルートはオレンジゆずるバスと阪急バスが競合するのではなく、役割分担し市内バス交通全体の利便性向上を目指す必要があることから、阪急バスは鉄道駅への交通、オレンジゆずるバスは市内移動の生活交通と、主な役割を分担しています。
<p>箕面8丁目8番あたりに平和台西のバス停がほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご要望のバス停の増設は、運行ルートに影響することから、利用状況や市民意向を踏まえて、運行ルート、バス停も含めた運行サービスの見直しの中で検討することになります。
<p>第2種住居専用地域である市立病院バス停をなぜ拠点のバス停とするのか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民の皆さんが利用したいと考えている施設であり、現に利用者が多いバス停であるため、全ルートが停車するバス停としています。

<p>利用率の低いバス停は見直す必要がある。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見直し基準により、1日あたりの利用者が9人以下のバス停は、統廃合の検討対象となっておりますが、廃止するバス停は、利便性・効率性を考慮して、ルートを廃止する区間のバス停のみの必要最小限としています。
<p>ささゆり園付近にバス停を設置してほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご希望の場所は、今回の見直しルートからはずれており、設置が困難な状況ですので、最寄りのバス停をご利用いただきますようお願いいたします。
<p>かやの中央のバス停は南行きしかないため遅延の原因となっている。バスロケーションシステムが機能しているなら、「萱野小学校前」「西宿」のバス停を「かやの中央」の代替として定時運行がしやすい路線設計とすべきである。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の運行ルートの見直しにおいて、北行きのバス停についても設置を行う予定です。
<p>聖母被昇天学院前バス停の復活はありがたいが、運行時間が増加している。 利用者の少ないバス停などを対象に効率見直しを行ってほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聖母被昇天学院前バス停は、周辺自治会から利用予測データ等の提出もあり、新設することになりました。 ・今後も利便性だけでなく、効率的・効果的な運行に向け、評価・見直しを行う考えです。
<p>運行ルート改定により「稲六丁目」バス停を廃止して、「松寿荘前」バス停への統合についてはやむを得ない。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稲六丁目、稲待合所のバス停は利用者が少なく、ルートとして廃止しています。稲6丁目については、松寿荘前のバス停をご利用いただくようお願いいたします。 ・引き続き利便性の高いバスとなるように取り組んでまいります。

	主な意見	考え方
C 運行ダイヤなど 33件	運行本数が少なく、利用ができない。便数を増加してほしい。 (6件)	<ul style="list-style-type: none"> 便数や運行時間は、国の補助金、市負担金、運賃などの収入と運行経費との関係もあり、便数、運行時間だけでなく運行ルートも合わせて検討を積み重ねてきました。 増便や運行時間の拡大は、実証運行を実施して、評価・見直し基準に基づき利用状況や市民意向等を踏まえ、利用者が多い場合等は増便など運行サービスを向上させることができます。 昨年9月の運行開始からの利用状況では、増便は困難な状況ですが、運行ルートを巡回ルートから往復ルートに見直し、実質的に増便となるような工夫をしています。
	中部北地区から箕面付近へ9時台に運行してほしい。 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 見直し(素案)ルートでは、中部北地区はシャトル運行となり、箕面付近へおよそ1時間1本の運行が確保できます。今後、運行事業者と協議の上、運行ダイヤを検討していきます。
	50便から30便になり、本当に1時間に1本の運行となるのか? (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 運行見直し(素案)では、実質的に6ルートを合体させて、3ルートに集約していますが、各ルートとも、バス2台で運行することから、現行の約1時間に1本の運行が確保できます。
	土日の運行を廃止した場合、平日の便数増加となるのか。便数の検討で、増便は今のままのバスの台数では不可能では。 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 大幅な便数の増加や一部時間帯に集中させることは現状のバス台数では難しいと考えられますが、運行ルートを巡回ルートから往復ルートに見直すことで実質的な増便を図ることや運行時間帯の延長、メリハリのある運行ダイヤ等により工夫することも可能と考えています。
	朝8時から夜9時まで運行してほしい。 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 5月1日から実施している運行ダイヤの改正は、遅延対策のため、ゆとりのあるダイヤに見直すとともに、利用者の少ない19~20時台の最終便を減便しています。 現時点では、19時以降のご利用は少ないと想定されますが、9月の見直し後の運行状況において、最終便の利用者が増加すれば運行時間帯の延長など運行サービスを向上させることができます。

<p>軽微な見直しによって、中心部の 19 時台の運行がなくなり困っている。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 1 日から実施している運行ダイヤの改正は、遅延対策のため、ゆとりのあるダイヤに見直すとともに、利用者の少ない 19 ~ 20 時台の最終便を減便しています。 ・ 現時点では、19 時以降のご利用は少ないと想定されますが、9 月の見直し後の運行状況において、最終便の利用者が増加すれば運行時間帯の延長など運行サービスを向上させることができます。
<p>遅延対策と乗継調整を合わせて考慮したダイヤ設定としてほしい。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 1 日の運行ダイヤの見直しにより、遅延対策を行っています。また、乗り継ぎについては、全てのバス停で乗り継ぎができることが望ましいと考えますが、すべてのルート、バス停でダイヤを調整するには種々の条件があり、非常に難しい状況です。 そのため、乗り継ぎ拠点を中心に利用しやすいダイヤ設定を検討したいと考えています。
<p>中部北地区からかやの中央へは遠回りとなったので、青松園前バス停での乗継が可能なダイヤとしてほしい。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り継ぎは、基本的に乗り継ぎ拠点でダイヤ設定を行うため、各バス停での乗り継ぎを含めた個別の調整は困難な状況です。 なお、中部北地区からかやの中央まで短い時間で行くためには、路線バスの活用も可能となっています。
<p>軽微な見直しにより大分遅延は減ったが、今後も遅れは 5 分以内に収めてほしい。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 月 1 日の運行ダイヤの見直しによりおおむね定刻通りの運行ができており、9 月 1 日以降のルート見直しにおいても、遅延がでないよう運行ダイヤを設定したいと考えています。
<p>軽微な見直しダイヤでは、以前までできていた乗継ができなくなるバス停がある。なぜこのようなダイヤ設定としたのか。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽微な見直しについては、遅延対策のため行っています。全てのバス停で乗り継ぎができることが望ましいと考えますが、すべてのルート、バス停でダイヤを調整するには種々の条件があり、非常に難しい状況です。 そのため、乗り継ぎ拠点を中心に利用しやすいダイヤ設定を検討したいと考えています。
<p>日、祝日は運行半減または運行なし。 (1 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価・見直し基準では、土曜・日曜・祝日においても、利用者が少なければ減便の検討を行うことになっています。 ・ 今回の見直しを検討するにあたり、見直し方針として、減便は極力せずにルート見直しや利用促進を実施したうえで、今後の利用動向や収支率を見ながら増便や減便の検討を行うこととしています。

<p>箕面、かやの中央等のバス停に同時に3ルートバスを集め、乗り継ぎが調整できるようにしてほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・箕面やかやの中央については、乗り継ぎ拠点となるため、ダイヤ調整などを行っています。ただし、すべてのルートのダイヤを調整するには種々の条件があり、非常に難しい状況ですが、運行事業者との協議の上、できるかぎり乗継が便利なダイヤ設定を検討したいと考えています。
<p>市立病院バス停の土曜・日曜・祝日及び平日昼間の運休又は減便を望む。 (9件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価・見直し基準では、土曜・日曜・祝日においても、利用者が少なければ減便の検討を行うことになっています。 ・今回の見直し方針として、減便は極力せずにルート見直しや利用促進を実施したうえで、今後の利用動向や収支率を見ながら増便や減便の検討を行うこととしています。 ・また、市立病院バス停への乗り入れについては、利用者の利便性とわかりやすさを考慮し、平日、土曜、日曜、祝日とも同じダイヤで運行します。ご理解をお願いします。
<p>朝9時台に箕面から市立病院方面のバスがない。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9月からのルート見直しとあわせて、ダイヤも改正するため、より利用しやすいダイヤ設定を検討したいと考えています。
<p>中部北地区から箕面付近や市中心部への実質の運行本数が増えたことはありがたい。 (3件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行では便数が少ないという意見が多数あったことから、ループ運行からシャトル運行に見直し、実質的に拠点間の運行本数を増やすなど利便性の向上を図っています。 ・引き続き利便性の高いバスとなるように取り組んでまいります。
<p>ループからシャトル運行となることによる乗車時間の短縮はありがたい。 (2件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行のルートはループ型で目的地まで向かう際に時間がかかっていましたが、可能な限りシャトル運行に見直すなど乗車時間の短縮を図っています。 ・引き続き利便性の高いバスとなるように取り組んでまいります。
<p>軽微な見直しによって、遅延の心配がなくなったように感じ、安心、感謝している。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5月1日の運行ダイヤの見直し以降、おおむね定刻に近い運行ができています。土日の夕方の渋滞についても時間の調整ができるようになったことから、遅延は少なくなっており利用者からも好評を得ています。 ・9月1日以降の運行についても遅延のないようなダイヤ設定を予定しています。

	主な意見	考え方
D 車両（車内・車外） 1 1 件	ルート名の表示をわかりやすくして欲しい。（名前変更・車体に色付 等） （3件）	・現行では行き先表示器の電光表示の他に前面フロントガラス下部と入り口左側にどのルートかわかるようにルート名称の色を表示するプレートを貼り付けています。さらにわかりやすく表示できるような工夫を市民協働の分科会において検討しています。
	車内外の電光掲示板、行先表示器の文字を大きくしてほしい。 （1件）	・運行当初は、車外のルート名表記に「ルート」という言葉が表示してあり、「青」などのルート名が小さく見えにくい状態でしたが、現在は「ルート」を取り払い、「青」などの文字を大きく表示しています。 ・電光表示板などの車載器の大きさを変更することは困難ため、可能な限り文字等を大きくするよう対応しています。
	ラッシュ時はバスを大型化してほしい。 （1件）	・オレンジゆずるバスでは、よりきめ細やかに運行を行い、利便性を確保するため、狭小な道路を通るルート設定をしていることから、車両は小型化せざるを得ない状況です。そのため、座席数が限定されていることから座席については譲りあっていただくよう呼びかけを行っております。また、積み残しが想定される場合には、増便等も検討します。ご理解願います。
	座席の多い車両としてほしい。 （1件）	・オレンジゆずるバスでは、よりきめ細やかに運行を行い、利便性を確保するため、狭小な道路を通るルート設定をしていることから、車両は小型化せざるを得ない状況です。そのため、座席数が限定されていることから座席については譲りあっていただくよう呼びかけを行っておりますので、ご理解願います。
	ブレーキと連動して光る「急停車にご注意」の看板がほしい。 （1件）	・車内アナウンスで急停車の注意喚起をしています。看板の設置の必要性については利用者のニーズや設置可否を含めて検討していきます。
	積み残し時にタクシーなどを連なって運行できるようにしてほしい。 （1件）	・現在、積み残しは発生しておりませんが、今後積み残し等の発生が見込まれる場合は、増便等利用者にご迷惑をかけないような対応を検討します。

<p>外国人の利用者のために、車内アナウンスや行き先表示器に英語を追加してほしい。 (1件)</p>	<p>・車内アナウンスの英語放送の追加はアナウンス時間が長くなるため、バス停間隔が短いオレンジゆずるバスでは導入は難しい状況です。また、行き先表示器への英語表記の追加についても表示器の大きさから対応が困難な状況です。今後は利用者の意向も把握して、少しでも分かりやすい情報提供の方法を検討していきます。</p>
<p>遅れ、ダイヤが乱れた際に、乗車時に行き先をアナウンスしてほしい。 (1件)</p>	<p>・乗車時の行き先については、車内放送を流すとともに、運行事業者の阪急バスに対して、運転士からもできる限り車内アナウンスをするよう指導していますが、特に遅延が発生している場合は、運転士からの車内アナウンスの実施を徹底するよう指導します。</p>
<p>乗継を活用するために、運転士に運行状況を尋ねられるようにしてはどうか。 (1件)</p>	<p>・オレンジゆずるバスがワンマンバスであり、運転士が他のオレンジゆずるバスの運行状況を把握するには乗務中に運行以外の作業を行う必要があることから、安全面など様々な課題があります。そのため、運行情報については携帯電話で確認できるようにしておりますが、携帯電話をお持ちでない方に対しての運行情報をどのように提供していくかが課題であると認識しています。</p>

	主な意見	考え方
E 運賃割引サービス 15件	運賃を安くすべき。 (半額(100円) 15歳以下、70歳以上は無料) (3件)	<ul style="list-style-type: none"> 生活交通の確保、環境負荷の軽減、市民活動の促進、地域商業の活性化等のため、オレンジゆずるバスによる市内移動の促進は必要不可欠であると考えています。 持続可能なバスとして本格運行を実施するには、利便性、採算性、効率性が確保されないと、困難となります。 市民も参画した協議会・分科会において運賃についても検討を重ねたうえで決定したもので、見直し基準では、運賃をさらに安くするには、収支率等を向上させる必要がありますので、今後も利用促進等を行っていきます。
	1日乗車券を導入してほしい。 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> 乗継割引と併用する割引として、1日乗車券の導入に向けて、検討しています。導入には販売方法等、さまざまな課題がありますので、引き続き検討を行っていきます。
	1日乗車券は500円とすべき。 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> 1日乗車券の導入に向けて、現在検討を行っており、金額についても、収支・利用促進等さまざまな角度から検討を行い決定していきたいと考えています。
	乗継運賃を無料化してほしい。 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎ料金の無料化については、さまざまな課題もあり困難な状況です。そのため、乗り継ぎの負担を軽減できるよう1日乗車券の導入を検討しています。
	路線バスとの共通で、割引となるカードや定期乗車券をつくってほしい。 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 阪急バスの回数カードやスルッとKANSAIなどは、オレンジゆずるバスでも使用可能です。また、オレンジゆずるバスの専用定期券は既に販売しておりますので、バスのご乗車の状況にあわせてご利用ください。
	各種割引制度を実施してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> 曜日限定割引券 子供、学生用に、長期休暇限定割引券 家族同伴での割引サービス等 (1件)	<ul style="list-style-type: none"> 各種割引制度の導入については、収支、利用促進、他のコミュニティバスの事例等を考慮し、より利用しやすいバスとなるよう様々な角度から検討を行いたいと考えています。

<p>65歳以上の方の有料の高齢者運賃割引証を実施してほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なバスとして本格運行を実施するには、利便性、採算性、効率性が確保されないと、困難となります。 ・市民も参画した協議会・分科会において高齢者運賃割引の対象範囲についても検討を重ねたうえで決定したもので、見直し基準では、適用範囲をさらに拡大するには、収支率等を向上させる必要がありますので、今後も利用促進等を行っていきます。
<p>大阪府でシルバーパス（東京都）を実施してほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスでは、高齢者の運賃割引を導入しています。 ・持続可能なバスとして本格運行を実施するには、利便性、採算性、効率性が確保されないと、困難となります。 ・市民も参画した協議会・分科会において高齢者運賃割引の対象範囲についても検討を重ねたうえで決定したもので、見直し基準では、適用範囲をさらに拡大するには、収支率等を向上させる必要がありますので、今後も利用促進等を行っていきます。
<p>大阪市交通局のように、ICカードや磁気カードによる乗継割引や住民基本台帳カードで、年齢等を判別し、自動的に割引となるようにすべき。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種カードにおけるIC機能を活用した乗り継ぎ割引は、システム開発の必要があるため、導入については本格運行時の課題とさせていただきます。また、住民基本台帳カードについては、IC機能による支払いができないため、困難です。
<p>オレンジゆずるバスは乗り継ぐと一般で300円となり、阪急バス(210円、230円)より割高とならないか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急バスでは乗り継ぎ割引を導入していませんが、オレンジゆずるバスは市内移動を円滑にするため乗り継ぎ割引を導入しています。また、さらに少しでも乗り継ぎの負担軽減を図るため、1日乗車券の導入も検討しています。

	主な意見	考え方
F 利用促進策 6件	<p>運転士の後ろに箕面の観光案内を表示できるデジタルサイネージがほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> バス車内のデジタルサイネージについては、設置に向けて関係者と協議しています。
	<p>乗車証明券を誰にでも取れるようにして、店舗や事業者の前にバス停を設置し、協力金を得て、運行本数増などに反映してはどうか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乗車証明券は、運転士に声をかけていただければどなたでも受け取ることができます。今後も、乗車証明券を活用した利用促進策についても検討を行っていきます。 協力金は有効と考えており、商業者への呼びかけなどを今後検討していきたいと考えています。
	<p>実証運行だから、無料乗車デーや土日半額などはどんどん実施すべき。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な運賃割引については、さまざまな課題があり、難しい状況ですが、利用促進として、実施可能か検討したいと考えています。
	<p>乗車証明券の利用など、お得感のある利用促進策を行政、協議会で協力して考えてほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乗車証明券を使った利用促進については、関係者と協議のうえ、商業者等に対してアプローチしていきたいと考えています。
	<p>施設利用者アンケートをとってほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 従来のアンケート方式や施設管理者へのヒアリングなど、施設利用者の意向把握の方法については今後の検討課題と考えています。
	<p>ゆずるボールペンなどのオレンジゆずるバスグッズは、今後どうなるのか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> オレンジゆずるバスのグッズの一つとして、ブルバックカー付ボールペンを作成し、利用促進を図ってきたところです。今後、ボールペン以外のグッズによる利用促進についても検討したいと考えています。

主な意見		考え方
G その他 17件	見直しの時期が早すぎるのではないか。 (2件)	・国から効率的・効果的かつ利便性の高いバスを目指して、3年間の実証運行期間中は毎年度見直しを行うことを求められています。また、協議会としても本格運行を目指して、毎年度の評価・見直しが必要と考えます。
	市民に納得できるよう、具体的（物理的な運行不可のルート、公共交通のルールについて等）かつ丁寧な説明をしてほしい。 (1件)	・説明会や、随時寄せられるご意見・ご質問等に関しましては、その都度具体的かつ丁寧に説明させていただいておりますが、今後も引き続きご理解いただけるよう説明してまいります。
	市民の要求などはしっかり聞いて結果に反映してほしい。 (1件)	・今回の見直しにおいても、市民や利用者の意見・意向を踏まえ、検討を重ねてきました。今後もより利便性の高いバスとなるよう、積極的に意向を把握して検討を行っていきます。
	実際に運行しているバスの運転士の忌憚ない率直な感想を聞いてほしい。 (1件)	・見直しには、運転士の意見を十分把握している阪急バスも参画して検討を行っています。
	説明会は土日にも実施すべきだった。 (1件)	・開催地域において、オレンジゆずるバスを利用して、多くの方が参加していただきやすい日程として平日を設定しました。今後は土日の開催だけでなく、効果的な説明会のあり方を検討します。
	運転士の休憩場所を市立病院に限定せず、また小型自動車でも運転士交代停留所まで行き帰りするなどし、運転士の労働時間を厳守できる設定としてほしい。 (1件)	・運転士の労働時間や交替については、運行事業者の阪急バスにおいて、適正に対応されています。休憩場所については、阪急バスとの協議により、市立病院としています。
	地域自主運行交通システム補助金制度（仮称）を確立してほしい。 (1件)	・道路状況や利用状況から、全ての地域を網羅して運行することは難しい場合もあります。オレンジゆずるバスが対応できない地域は、それぞれの地域で自主的な交通システムを導入することは大変重要なことであり、支援策の検討は今後の課題と考えます。

<p>車イスの利用について、利用者が乗車前に乗車可否を情報センター等へ問い合わせ、確認・予約ができないか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジゆずるバスは、乗合バスであるため、予約することは、困難な状況です。しかし、車いすでの利用台数が限定されるため、乗車可否の情報提供の必要性は、全国的な課題であると認識しております。そのため、どのような情報提供をすることができるのか、引き続き検討を行っていきます。
<p>デジタルサイネージには、広報課を窓口交通、商工、教育委員会、市民文化促進、健康福祉等からの情報をFMまちそだて会社と協力し企画・発信してほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルサイネージの効果的な情報発信の方法等について、現在関係者と詳細について検討を行っています。
<p>「千里中央～箕面森町」運行の阪急バスにおいて、1時間に1本小型バスにして、止々呂美を回るルートを設定してほしい。オレンジゆずるバスの役割を兼ねるということで検討してほしい。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・阪急路線バスとして、輸送量に対応した大型バスで千里中央、箕面森町間を運行しています。輸送量及び収支により、止々呂美地区における小型バスの運行は困難であるのが現状です。 ・そのため、止々呂美地域の利用は、既存の中止々呂美バス停等のご利用をお願いします。
<p>当バスの運行の目的、必要性が理解できない。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通の確保、環境負荷の軽減、市民活動の促進、地域商業の活性化等のため、オレンジゆずるバスによる市内移動の促進は必要不可欠であると考えています。オレンジゆずるバスの運行により、日常生活・社会生活の円滑な移動を確保し、市内バス交通の充実を図ることが多くの市民から求められています。
<p>オレンジゆずるバスは交通弱者の交通手段、地域のコミュニティの活性化、高齢者の社会参加の促進に寄与することを目的とすべきである。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の目的も含め、オレンジゆずるバスは、生活交通の確保、環境負荷の軽減、市民活動の促進、地域商業の活性化等のため、必要不可欠であると考えています。
<p>今回の3ルートを設定するにあたり、試運転・試乗による検討はしたのか。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新ルートについては、市及び阪急バスにより実際に走行し、確認及び検証を行っています。

<p>乗車率が目標を下回り、廃止すべきである。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者の移動手段の確保、環境負荷の軽減、地域商業の活性化のため、バスによる市内移動の促進は必要不可欠であると考えています。オレンジゆずるバスの運行により、日常生活・社会生活の円滑な移動を確保し、市内バス交通の充実を図ることが多くの市民から求められています。 ・本格運行を目指して、3年間の実証運行中に利用促進策を実施するとともに、評価・見直しを行い、利便性だけでなく効率的・効果的な運行を図っていきたいと考えています。
<p>運転手が親切である。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運転士マナーについては、阪急バスに対して指導を行っています。より気持ちよく乗っていただけるよう、引き続き指導していきます。
<p>バス車体がかawaii。 (1件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスのデザイン及び愛称は、公募により箕面市地域公共交通活性化協議会において選考し決定したもので、かawaii、わかりやすいなど好評をいただいております。今後も、よりみなさんに親しみを持っていただけるよう、車内のデザイン等についても検討していきます。

同一が複数の意見を提出しているため、提出件数とは整合しません。